

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は2025年7月14日に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）」を開示いたしました。当社は持続的な成長に向けた抜本的な収益力の強化と資産効率の改善は引き続き重要な課題と捉えており、今後もROEの維持向上に加え、PBRについても期待成長率の向上や株主還元の充実により改善を図ってまいります。



当社Webサイトもあわせてご覧ください。

<https://www.toyodenki.co.jp/ir/release.html>

企業価値向上に向けた取組み

$$\text{PBR} = \text{ROE} \times \text{PER} \quad \text{ROE・PERの改善に取り組む}$$

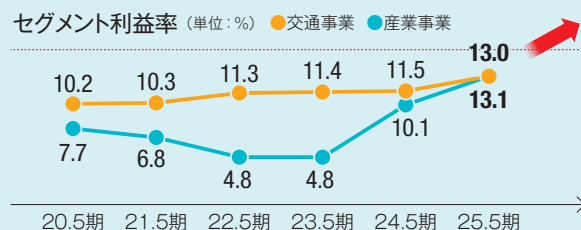
PBR	ROE	中期経営計画2026 2026年5月期 目標 8% 中期経営計画2026の目標を確実に達成し、その後もさらなる向上を目指す	収益力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●営業強化による受注の拡大 ●既存事業の徹底した収益体質の改善
			資産効率の改善 <ul style="list-style-type: none"> ●政策保有株式縮減の継続 ●運転資本の圧縮によるバランスシートの改善
	PER	持続的な成長に向けた新しい事業・製品の拡大を加速するとともに、当社の成長戦略をIR活動強化等を通じてお伝えする 増配・自己株式取得等による株主還元の充実を図る	期待成長率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ●新しい事業・製品に向けた投資の拡大 ●人事戦略の推進による従業員エンゲージメント向上 ●IRの充実
			株主還元の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●配当性向30%以上の維持（下限30円） ●機動的な自己株式取得の継続

収益力の強化

既存事業の徹底した収益体質の改善

- 適正な販売価格への見直し

適正な販売価格への見直しを継続し、賃上げ、物価高、金利上昇等のコストアップを吸収するとともに、価値ある製品品質とサービスの追求により、顧客満足度の維持向上に努めてまいります。



- 低採算事業・製品の見直し継続

株主還元の充実

配当政策

継続的・安定的に配当性向30%以上かつ下限**30円**を基本方針としつつ、中期経営計画2026では、利益の拡大による増配と企業価値の向上を目指します。（2026年5月期の配当予想は75円）

1株当たり配当金（単位：円）

